スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県 大府市

自 治 体 名 ： 愛知県大府市
担 当 課 名 ： 学校教育課
電 話 番 号 ： 0562-46-3332

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	総面積33.66 ㎢
人口	92,939 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	2,784 人
部活動数	45 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市では部活動の地域移行に向けて令和５年３月に「大府市部活動地域移行ビジョン」を策定し、公表した。

令和6年度は「大府市部活動地域移行ビジョン」で示す方針に基づき検討を重ね、令和７年８月以降は土日の学校部活動を実施しない方針を決定し、その代わりの場として新たに「おおぶ地域クラブ」を設置することとしている。

「おおぶ地域クラブ」の開始に向けて市内の大学、団体、学校保護者等の代表で組織する「大府市部活動地域移行実行委員会」や、各中学校の代表からなる「部活動地域移行推進連絡会議」において、多様な意見を聴取し、令和7年8月に向けて検討を重ねてきた。

「おおぶ地域クラブ」は市内の特定非営利活動法人が中心となり運営管理を行っていくことを決定しているが、指導者の確保や運営管理の方法、参加料の徴収等、多くの課題を今後解決していかなければならない。



【大府市中学校部活動地域移行ビジョン】



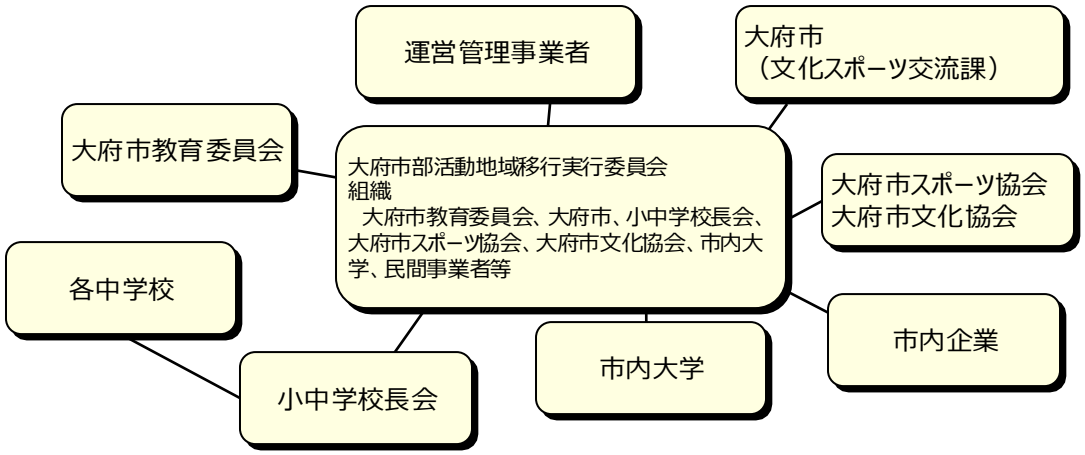
【おおぶ地域クラブ説明動画】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（学校教育課）

・市立中学校との連絡・調整
・大学、事業所、各種団体との連携に向けた調整
・大府市部活動地域移行実行委員会の実施

◉首長部局（文化スポーツ交流課）

・市スポーツ協会、文化協会への働きかけ
・大府市部活動地域移行実行委員会への出席

年間の事業スケジュール

令和6年4月	第1回部活動地域移行実行委員会
令和6年6月	第1回指導者研修会
令和6年8月	第2回大府市部活動地域移行実行委員会
令和6年10月	県教育委員会主催情報交換会
令和6年11月～令和7年2月	プレ地域クラブ活動
令和6年12月	教員・地域指導者意向調査
令和7年1月	第3回大府市部活動地域移行実行委員会
令和7年1月	中学校入学説明会（動画説明）
令和7年3月	地域クラブ指導者説明会
令和６年４月～令和７年2月	大府市部活動地域移行推進連絡会議（毎月）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3 校	実施した地域クラブ総数	6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		6 クラブ（0 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		クラブ
全体の指導者数	12 人	全体の運営スタッフ数	4 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
大府北中サッカー	民間事業者	サッカー	週 1 回程度	8時～11時	1年13人 2年12人	令和6年11月～12月	学校グラウンド	2 人	4 人（内、兼務×4人）	会費 0 円	部活動として出場
大府南中卓球	民間事業者	卓球	週 1 回程度	8時～11時	1年15人 2年13人	令和7年1月～2月	学校体育館	2 人	4 人（内、兼務×4人）	会費 0 円	期間中の大会参加無し
大府南中男子バスケ	民間事業者	バスケ	週 1 回程度	8時～11時	1年15人 2年13人	令和7年1月～2月	学校体育館	2 人	4 人（内、兼務×4人）	会費 0 円	期間中の大会参加無し
大府中卓球	民間事業者	卓球	週 1 回程度	8時～11時	1年21人 2年18人	令和7年1月～2月	学校体育館	2 人	4 人（内、兼務×4人）	会費 0 円	期間中の大会参加無し
大府中男子バスケ	民間事業者	バスケ	週 1 回程度	8時～11時	1年17人 2年10人	令和7年1月～2月	学校体育館	2 人	4 人（内、兼務×4人）	会費 0 円	期間中の大会参加無し
大府中女子バスケ	民間事業者	バスケ	週 1 回程度	8時～11時	1年10人 2年6人	令和7年1月～2月	学校体育館	2 人	4 人（内、兼務×4人）	会費 0 円	期間中の大会参加無し

2.実証内容と成果

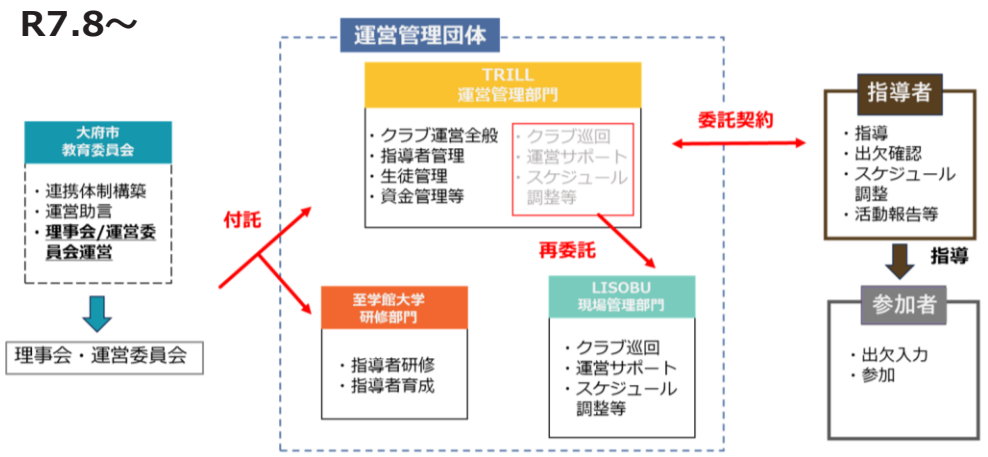
スポーツ庁

主な取組例

●クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、バスケ、卓球
運営団体名	特定非営利活動法人TRILL
期間と日数	サッカー：11月30日 ～ 12月21日 月3回程度 卓球：1月19日 ～ 2月16日 月3回程度 バスケ：1月19日 ～ 2月16日 月3回程度
指導者の主な属性	部活動指導員、外部指導員、教員
活動場所	各中学校体育館、グラウンド
主な移動手段	徒歩、自転車
１人あたりの参加会費等（年額）	0円 ※令和7年8月より月2,000円
１人あたりの保険料	0円 ※令和7年8月より年800円

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●運営管理部門　4名

役割：クラブ運営全般、生徒管理、クラブ活動広報等を行う

●現場管理部門　2 名

役割：クラブ巡回、スケジュール管理、指導者フォロー等を行う

●指導者　各クラブ 2 名以上（メイン指導者、サブ指導者、サポーター）

役割：各クラブでの指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

・地域移行後のクラブ運営に関する課題抽出のため、モデル事業として実施するクラブ活動の運営管理を委託し、地域クラブ活動の運営管理方法について検討した。

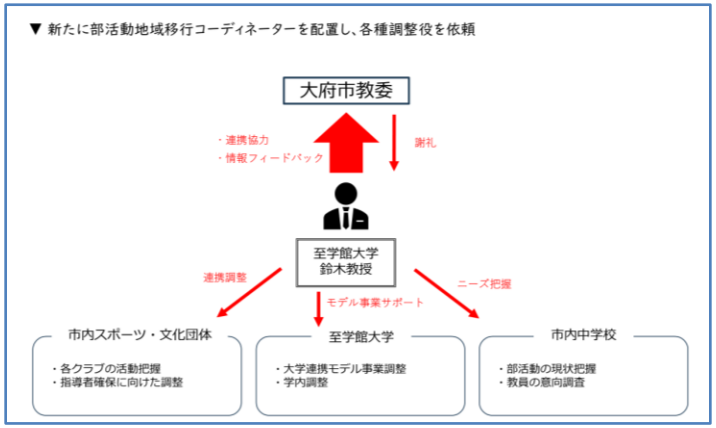
・コーディネーターの配置により、市と関係団体との連絡調整を行った。

取組の成果

・モデル事業として実施した３中学校６クラブの運営を通して、４中学校全50クラブでの運営管理に向けた実証を行った。

・平日の学校部活動との連携や生徒、保護者への連絡等で使用するアプリについて試行し、課題抽出することができた。

・コーディネーターが地域の団体等と連携することでオールおおぶでの実施体制に向けた準備が進められている。



【コーディネーター説明資料】

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ◆ 運営管理事業者打合せ
- ◆ 部活動地域移行推進連絡会議での助言
- ◆ 至学館大学連携指導者研修会
- ◆ 兼職兼業説明動画作成
- ◆ 県教育委員会主催研修会での発表

今後の課題と対応方針

令和６年度中に令和７年度から開始する「おおぶ地域クラブ」の運営事業者を決定した。この事業者と地域クラブ開始に向けた準備として、クラブへの入会登録、アプリを活用したスケジュールや出欠管理、参加料の徴収等の準備を進めている。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

・愛知県教育委員会が設置した「あいち地域クラブ人材バンク」を活用して指導者の募集を進めている。

・市内にある至学館大学と連携し、地域クラブ指導員に必須で受講いただく研修プログラムを構築し、指導者の質の確保を目指していく。

人材バンクの人数

97名

人材バンクの年齢構成

10代	11名
20代	45名
30代	13名
40代	8名
50代	10名
60代以上	8名
不明	2名

種目

野球	15名	バスケ	10名
サッカー	13名	バドミントン	6名
吹奏楽	24名	バレー	10名
テニス	15名		
卓球	5名		

登録者属性

職業等

大学生	20名
その他	77名

取組の成果

「あいち地域クラブ人材バンク」を活用して指導者を募集したことで、大府市外の指導者の方にも多く関心をもってもらえ、想定以上の募集を受けることができた。

応募があった指導者に対しては大府市教育委員会で一次面談し、適切と判断した場合、学校の部活動顧問との二次面談に進んでいただき、二次面談でも適切と判断した場合に指導者として登録するという流れで指導者の登録を進めている。



【愛知県版チラシ】



【大府市版チラシ】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の概要

至学館大学と連携し、指導者としての心構えやハラスメントの防止、応急処置等の指導者として必要なスキルを学んでいただく研修会を実施

- ■ 実施日時／
  ①令和６年６月１５日（土）
  ②令和６年６月２２日（土）
  ③令和６年６月２９日（土）
- ■ 実施場所／大府市役所　会議室
- ■ 受講者／46名
- ■ 研修テーマ

至学館大学部活動地域移行指導員研修プログラム

日　程

6月15日（土）

9:00	やる気を引き出す言葉かけ	鈴木　孝 （日本ペップトーク普及協会）
10:00	思春期の子どもの心理と指導上の留意点	池田琴恵 （豊田工業大学）
11:00	ハラスメントの知識	笹竹英穂 （至学館大学）
13:00	安全管理（事故防止について）	福富　優 （至学館大学）

6月22日（土）

9:00	子どもの発育・発達にあわせた指導法	浅野幹也 （至学館大学）
10:00	みんなで月経について考えてみませんか？	今井美希 （至学館大学）
11:00	けがの対応や応急処置	後藤英之 （至学館大学）

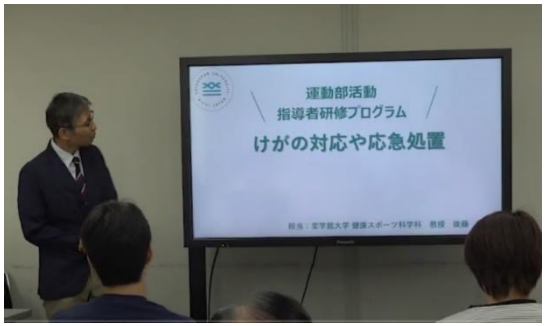
6月29日（土）

9:00	トレーニングの原理・原則	宮澤太機 （至学館大学）
10:00	服務（部活動指導員）・会計管理	久林直美・鈴木達見 （至学館大学）
11:00	保護者への対応・引率	久林直美・鈴木達見 （至学館大学）

▼指導開始までのフロー

順序	時期	内容
①	令和７年３月	指導員説明会（運営事業者）
②	4月	指導者業務委託契約　（⇔ 運営事業者）
③	5月	至学館大学実施研修受講（対面orオンライン）
④	～5月末	研修受講レポート提出　（→ 至学館大学）
⑤	6月	研修受講修了証受領　（← 至学館大学）
⑥	8月	地域クラブ活動指導開始

【指導開始までのフロー】



【指導員研修会の様子】

今後の課題と対応方針

地域クラブの指導者の質の確保は重要な課題であるため、次年度以降は、地域クラブで指導する場合は、必ず至学館大学実施する指導者研修を必ず受講することとしていく。（年2回）

研修は対面式とオンラインの両方で受講可能とし、受講後は至学館大学へレポートを提出して修了証を受け取ることとしている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

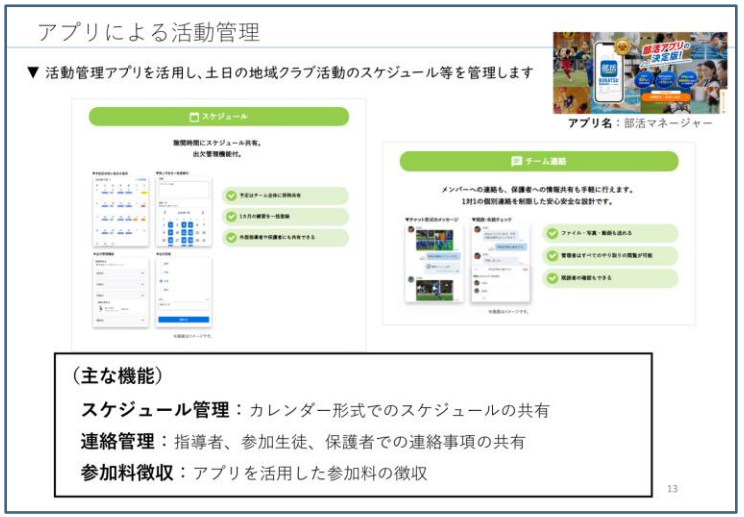
取組事項

地域クラブ活動と平日の部活動の連携を円滑に行うため、専用のアプリを導入し、スケジュール管理や指導者間の連絡調整に関する取り組みを試行した。

取組の成果

・今年度実施した地域クラブ活動ではスケジュールの管理や出欠管理、活動報告を全て専用アプリ内で完結させた。

・アプリの導入によって保護者も生徒の予定を確認できるようになり安心感を得ることができた。



【アプリ説明資料】

今後の課題と対応方針

平日の学校部活動と土日の地域クラブのスムーズな連携は地域展開を進めていく上での大きな課題になると認識している。
そのため、以下の方法でスムーズな連携ができるように体制を整えていく。

① アプリを用いた情報共有
　アプリ内で学校部活動の顧問と地域の指導者が情報共有や必要な連絡をできるような体制を整えていく。

② 運営事業者による定期巡回
　運営事業者が地域クラブの活動を定期的に巡回し、指導者からの情報を集約し学校へ伝えることで両者が情報共有できる体制を構築していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

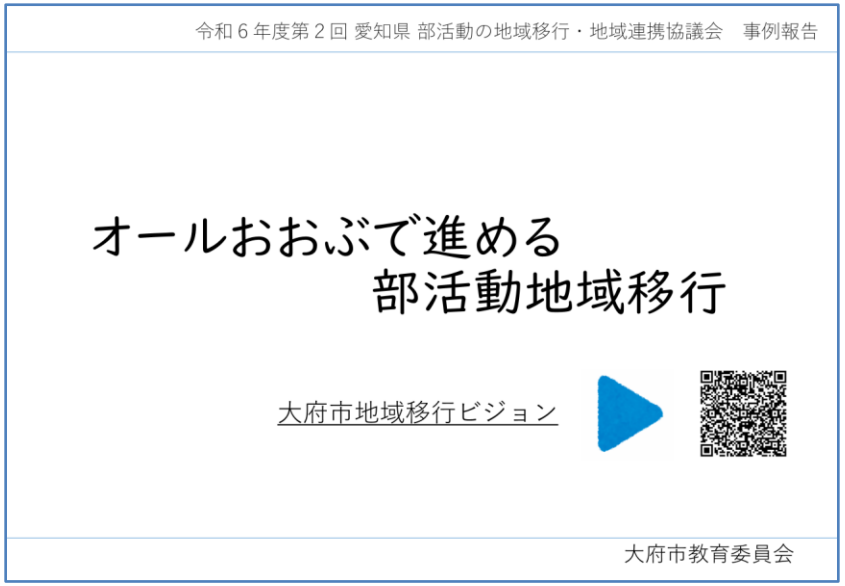
●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

・他市町の取組の情報収集のため、県内の他市町と密に連携。

・地域クラブの指導者確保に向けて、市内の事業者、団体等との密な情報交換を実施。

・県内他市町に向けて大府市の取組を情報発信



【愛知県教育委員会主催研修での報告資料】

取組の成果

・「令和６年度第２回 愛知県 部活動の地域移行・地域連携協議会」での事例報告
・愛知県内他市町との情報交換（長久手町、江南市、東浦町ほか）
・指導者確保に向けた指導者募集の協力依頼（愛三工業、住友重機械工業）
・スポーツ・文化団体との連携（大府市文化協会、大府市スポーツ協会、FC刈谷）

今後の課題と対応方針

全てのクラブへの指導者の配置が完了していないため、今後も市内の事業者、団体等へのアプローチを継続し、オールおおぶで進める部活動地域移行を推進していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

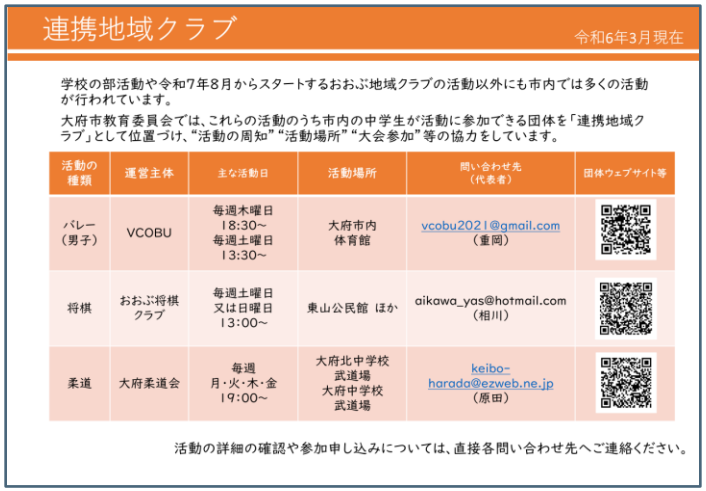
部活動地域移行をきっかけに、これまで学校部活動として実施していなかった活動についても「新たな地域クラブ」や「連携地域クラブ」として位置付けることで、生徒の多様なニーズに合わせて活動に参加できる体制を整えていく。例えば、「ダンス」や「将棋」、「ラグビー」等の学校部活動に無い活動でも、生徒のニーズがあり、場所や運営体制が確保できている活動について、地域で活動している運営団体と連携し、地域クラブ活動に位置付けていく。

取組の成果

大府市の学校部活動ではこれまでバレーボールは女子生徒のみの活動となっていたが、男子生徒のバレーボールのニーズも高かったため、地域の団体と調整し、新たな地域クラブとして男子のバレーを実施することとした。

今後の課題と対応方針

今後も、市内で活動するスポーツ・文化団体と連携し、子ども達のニーズにあった活動をおおぶ地域クラブや連携地域クラブとして実施できるようにしていく。

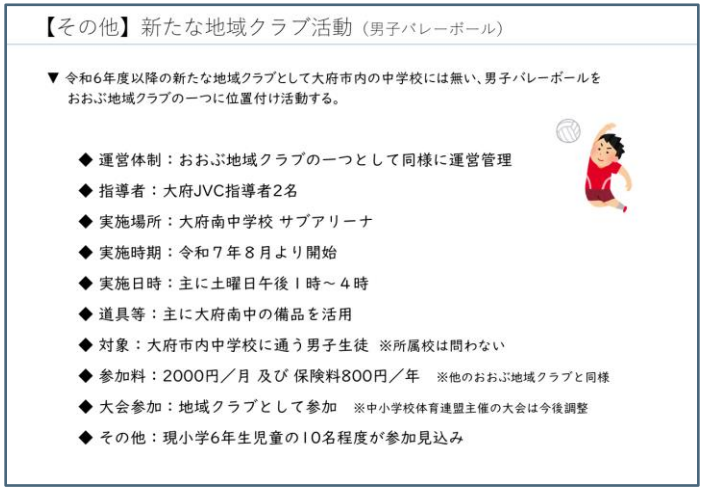


連携地域クラブ　令和6年3月現在

学校の部活動や令和7年8月からスタートするおおぶ地域クラブの活動以外にも市内では多くの活動が行われています。
大府市教育委員会では、これらの活動のうち市内の中学生が活動に参加できる団体を「連携地域クラブ」として位置づけ、"活動の周知""活動場所""大会参加"等の協力をしています。

活動の種類	運営主体	主な活動日	活動場所	問い合わせ先（代表者）	団体ウェブサイト等
バレー（男子）	VCOBU	毎週木曜日 18:30～ 毎週土曜日 13:30～	大府市内体育館	vcobu2021@gmail.com（重岡）	
将棋	おおぶ将棋クラブ	毎週土曜日又は日曜日 13:00～	東山公民館 ほか	aikawa_yas@hotmail.com（相川）	
柔道	大府柔道会	毎週 月・火・木・金 19:00～	大府北中学校武道場 大府中学校武道場	keibo-harada@ezweb.ne.jp（原田）	

活動の詳細の確認や参加申し込みについては、直接各問い合わせ先へご連絡ください。



【その他】新たな地域クラブ活動（男子バレーボール）

▼ 令和6年度以降の新たな地域クラブとして大府市内の中学校には無い、男子バレーボールをおおぶ地域クラブの一つに位置付け活動する。

◆ 運営体制：おおぶ地域クラブの一つとして同様に運営管理
◆ 指導者：大府JVC指導者2名
◆ 実施場所：大府南中学校 サブアリーナ
◆ 実施時期：令和７年８月より開始
◆ 実施日時：主に土曜日午後１時～４時
◆ 道具等：主に大府南中の備品を活用
◆ 対象：大府市内中学校に通う男子生徒 ※所属校は問わない
◆ 参加料：2000円／月 及び 保険料800円／年 ※他のおおぶ地域クラブと同様
◆ 大会参加：地域クラブとして参加 ※中小学校体育連盟主催の大会は今後調整
◆ その他：現小学6年生児童の10名程度が参加見込み

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

「大府市部活動地域移行実行委員会」や「義務教育推進協議会」の場において地域クラブの参加料について議論し、令和７年８月からの参加料徴収について方針を決定した。

今後の課題と対応方針

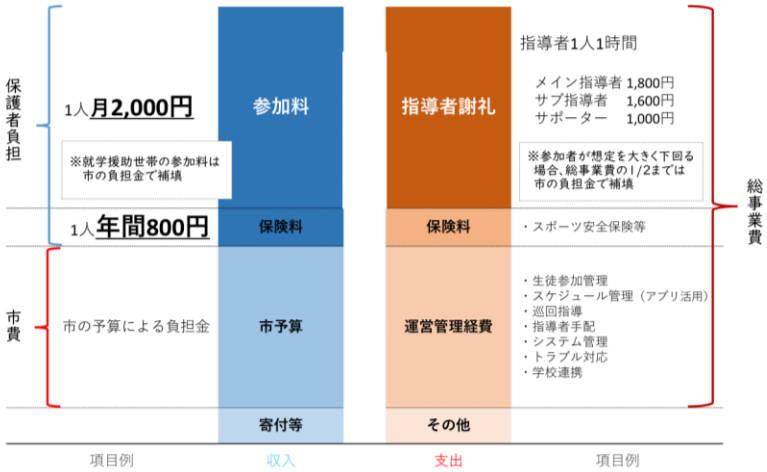
・地域クラブの受益者負担について、令和7年8月から生徒一人あたり月2,000円を参加料として徴収することで決定した。

・徴収方法については、運営管理で使用する専用アプリを用いた口座振替を行う。

・困窮家庭への対応として、就学援助相当世帯については申し出があれば参加料を免除とし、市から運営事業者へ負担金として支払うことを予定している。

資料

▼ 地域クラブ運営にかかる収支イメージ



◎ 保護者負担 ⇒ 保護者からの参加料の範囲内で調整

項目	金額（千円）	積算（千円）	項目
指導者謝礼	18,432	18,432	指導者謝金
保険料	1,120	1,120	スポーツ安全保険
合計	**19,552**		

◎ 市予算 ⇒ 固定費

項目	金額（千円）	積算（千円）	項目
運営管理経費	16,320	7,000	人件費（総務）
		2,500	人件費（現場管理）
		300	指導者保険
		720	外部顧問（弁護士、税理士）
		2,400	諸経費（口座振替手数料含む）
		3,400	一般管理費
研修委託料	1,500	1,500	至学館大学研修
アプリ使用料	2,079	2,079	管理アプリ使用料
合計	**19,899**		

4

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

原則、学校施設を活用するため、学校の鍵の管理や学校備品の借用、消耗品の使い分け等のルールを策定する。
学校関係者以外が学校施設を利用する機会が増えるため、学校の鍵の管理や学校備品の借用、消耗品の使い分け等のルール作りは必須となる。

取組の成果

・令和7年8月より開始するにあたり、各中学校のグラウンドや体育館、音楽室等を使用して活動することとしている。

・平日の部活動で使用する消耗品や備品を土日のクラブ活動でも共有して使用する方針のため、指導者間の意思疎通や共通認識が必要のためにアプリでの情報共有を試行した。



【音楽室導線確認】



【音楽室導線確認】

今後の課題と対応方針

今後、学校閉校日に学校施設を使用するにあたっての使用ルールや共有の方法をルール化していく。

また、学校内を使用する吹奏楽においては音楽室の警備システムの見直しや生徒の移動導線についても検討が必要になってくる。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和6年度に行った各種検討会議や運営事業者との協議、委託事業の実施により、令和7年8月からの「おおぶ地域クラブ」の活動開始に向けた様々な課題の抽出や解決に向けた検討が進められた。

●成果の評価

〇部活動地域移行コーディネーターの配置
・大学教授による各種連絡調整や運営管理体制への助言　⇒　学校、事業者、団体、大学などオールおおぶで支える地域クラブの実現
〇大学連携研修
・指導員研修を実施　⇒　次年度以降の指導者研修のスキームを構築
〇指導者確保
・愛知県地域クラブ人材バンクシステムの活用　⇒　多くの指導者を確保
〇運営管理体制の構築
・市内のNPO法人を中心とするクラブ運営を決定　⇒　アプリの活用や平日の活動とのスムーズな連携を模索

●今後に向けて

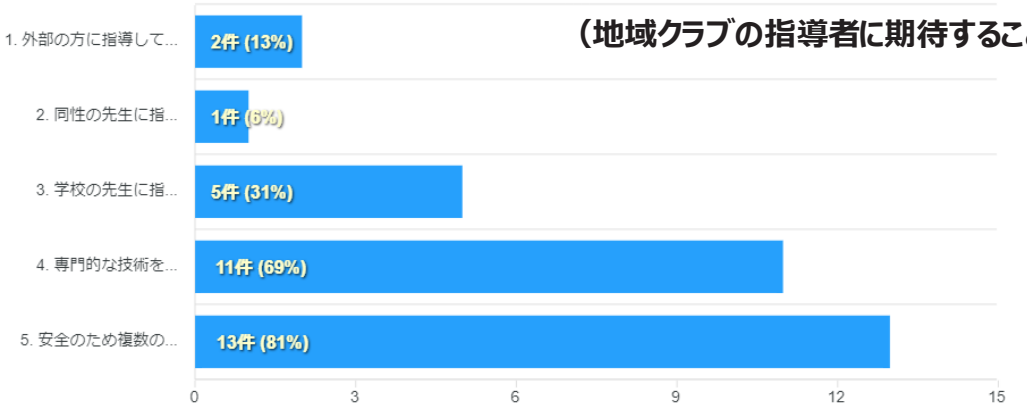
令和7年8月より開始する「おおぶ地域クラブ」の実施に向けてオールおおぶで子ども達の活動をより良い形で支えていけるよう運営管理事業者や市内の企業、団体等と連携しながら検討していく。

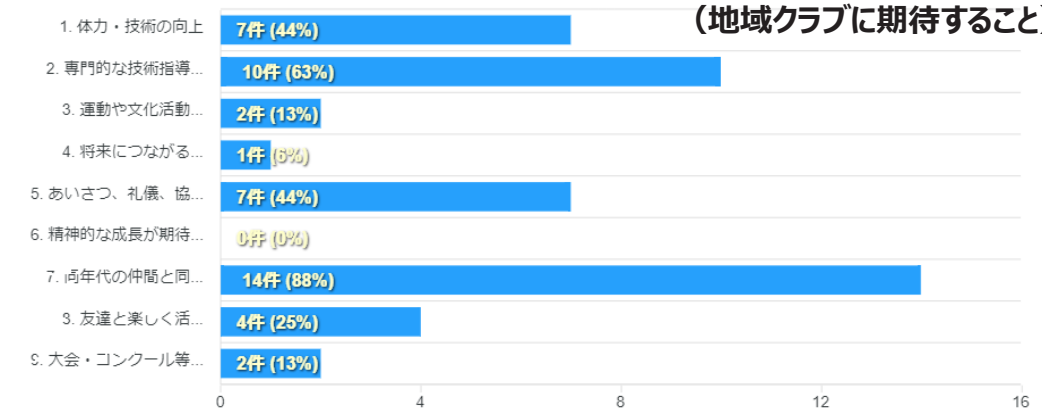
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果





●参加保護者の声

・地域クラブになってからの試合結果や成績については、今までの部活動と同様に学校での表彰式（朝会等）の対象になるのか。
・試合結果は個人の内申書にも今までと同じように反映されるのか。

・金額や、活動拠点。毎度親が送迎しないといけない距離は負担が大きいので避けたい。また、ユニフォームや防寒具の買い直しも負担になります。練習着は今までのもの、試合のユニフォームは貸し出しにしてもらいたいです。
・できるだけ多くの生徒が試合に出れるよう複数チームで参加できるように検討いただきたいです。

平日と土日は指導者が違うとなると指導者の考え方など統一性がなくなり子供が混乱しないか少し不安です。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

アンケート結果・広報資料

クラブ活動に参加するにあたっては、保護者や生徒に対して事前の事業説明をするとともに、導入するアプリについて登録方法や使用方法の説明を行っている。

令和7年8月からの「おおぶ地域クラブ」に関する説明動画を市ウェブサイト上にアップし、生徒・保護者へ活動の周知を行った。



生徒・保護者用

特定非営利活動法人TRILL
2025年1月11日

大府南中学校バスケットボール・卓球部

部活動地域移行プレ活動
～参加申し込み方法～

01 入会申し込みの申請
所定の入会申し込みフォームから申請します。
QRコードを読み取り、「参加者はこちら」からログインしてください。
必ず保護者の方が、表示された画面の各項目を入力して申し込みをしてください。
申込期限：1月17日（金）

02 参加承認
申請いただいた申込書の内容を事務局(TRILL)で確認します。
内容に不備等が無かった場合、事務局(TRILL)からご登録いただいたメールアドレス宛に入会承認の通知が届きます。

03 アプリ登録
承認通知が届いた方は、アプリ登録の案内に従って「部活アプリ クラブマネージャー」に登録し、希望する地域クラブへの登録申請をしてください。登録いただくのは生徒のみです。
申込期限：1月17日(金)

04 地域クラブへ参加
入会申し込みの内容とクラブマネージャーの内容に相違がないことを事務局(TRILL)にて確認し、確認が取れましたら承認いたします。
承認後にアプリが使用可能になります。保護者の方は、アプリ内の「アプリ使用マニュアル」より使用方法を確認し、出席・欠席・遅刻・早退連絡を行ってください。

ご登録について、ご不明な点やエラーなどが出た場合には、
サポート担当 （特定非営利活動法人TRILL）までご連絡ください。
お問合せ先 ： info@npotrill.jp

【プレ活動案内】

出典:保護者案内



令和7年8月スタート
土日のおおぶ地域クラブ活動について

SUSTAINABLE HEALTHY CITY

大府市地域展開説明動画
および
本件に関するお問い合わせ

指導者募集（人材バンクシステム）

大府市教育委員会

【URL：https://youtu.be/RVSBI_qDYf8?si=I_B9lv0YrMmF1Sq9】

【保護者案内動画】

出典:大府市公式ウェブサイト

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



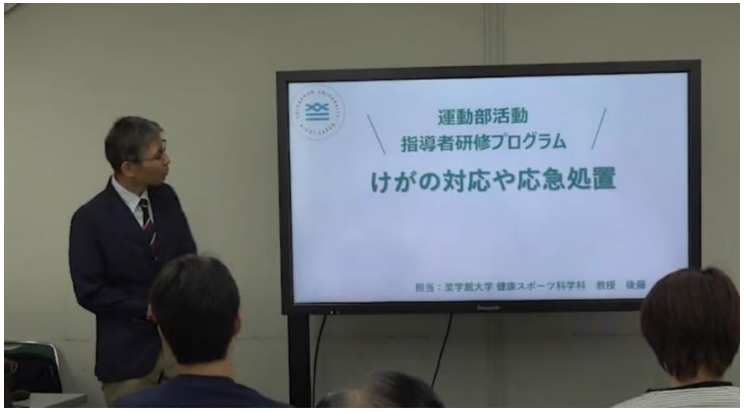
【大府北中サッカー】



【大府中バスケ】



【大府南中卓球】



【指導者研修会】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和４年		令和５年		令和６年	令和７年
協議会設置、検討開始	方針決定	地域クラブ活動のモデル実施①	運営スキーム検討	地域クラブ活動のモデル実施②	地域クラブ活動の全面実施

●協議会でのき

大府市部活動地域移行準備委員会の設置

（内容）

部活動地域移行に向けての方針の策定と課題整理を行った。

R4.11　第1回準備委員会

R4.12　第2回準備委員会

R5.3　第3回準備委員会

●計画の策定

「大府市地域移行ビジョン」を策定

●協議会

大府市部活動地域移行実行委員会の設置

（内容）

新たな地域クラブの運営管理体制に関する課題整理を行った。

R5.6　第1回実行委員会

R5.11　第2回実行委員会

R6.2　第3回実行委員会

●国委託事業でのモデル活動

3中学校でモデル活動を実施。

（内容）

実施時期：R5.８～R６.２

実施主体：民間事業者

実施種目：陸上、バスケットボール

●おおぶ地域クラブの活動開始を決定

・運営管理事業者の決定

・参加料の決定

・運営スキームの決定

●国委託事業でのモデル活動

3中学校でモデル活動を実施。

（内容）

実施時期：R6.11～R7.２

実施主体：民間事業者

実施種目：サッカー、卓球、バスケットボール

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

長期スケジュール

「大府市中学校部活動地域移行ビジョン」において令和7年8月に土日の部活動を地域クラブとすることを示している。

平日の部活動の地域移行については、令和8年以降に検討していくこととしている。

年度	R5	R6	～R7.7月	R7.8月～	R8～
名称	（学校）部活動			地域クラブ	
位置付け	学校教育の一環			生涯学習（文化・スポーツ）	
運営主体（土日）	学校			地域クラブ	
指導者	・教員 ・部活動指導員、外部指導員（地域の指導者）			地域の指導者 （教員は兼職・兼業可）	
運営主体（平日）	学校　※将来的には平日も地域クラブに移行				地域クラブ

短期スケジュール

令和7年8月の「おおぶ地域クラブ」開始に向けたスケジュールを生徒・保護者向けに示している。

